



令和5年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年8月8日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩成 和子 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第3四半期の連結業績 (令和4年10月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第3四半期	5,633	20.4	205	—	228	△50.1	165	△47.2
4年9月期第3四半期	4,679	29.2	△162	—	457	—	313	—

(注) 包括利益 5年9月期第3四半期 168百万円(△49.1%) 4年9月期第3四半期 330百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第3四半期	18.62	18.59
4年9月期第3四半期	35.46	35.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第3四半期	4,299	1,605	35.9
4年9月期	4,417	1,426	31.0

(参考) 自己資本 5年9月期第3四半期 1,545百万円 4年9月期 1,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
5年9月期	—	0.00	—	—	—
5年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点におきましては、令和5年9月期期末配当を未定とさせていただきます。配当の見通しが得られ次第、速やかにお知らせいたします。

3. 令和5年9月期の連結業績予想 (令和4年10月1日～令和5年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,252	19.6	111	—	121	△55.7	103	△15.1	11.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年9月期3Q	8,978,800株	4年9月期	8,978,000株
② 期末自己株式数	5年9月期3Q	75,955株	4年9月期	87,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年9月期3Q	8,894,607株	4年9月期3Q	8,843,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、卸売事業、加工事業、養殖事業を垂直に展開する6次産業化を推進しております。その目指すところは、SCM(サプライチェーンマネジメント)力のある垂直統合型の総合水産企業の展開です。目的は、グループ飲食店舗のお客様、外販先(飲食業者、小売業者、卸売業者等)とダイレクトに情報共有することで、すべての事業においてお客様視点からの生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造にあります。当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMによるトレースが確認できる安心・安全な食材の調達と職人の技を駆使した満足度の高い料理・サービスの提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場に向けた水産物の事業展開を図るため米国ニューヨーク(以下:NY)に出店しているシーフードレストランにおいては、水産物6次産業化体制を基盤とするサステナビリティが評価されて業績は順調に推移しております。

当第3四半期においては、「アフターコロナ」が本格化し、国内の消費行動が活発化する中、人々の外食機会がさらに増加しておりますが、在宅勤務の定着もあり団体や社用の外食機会はコロナ前と比較して減少しております。こうしたアフターコロナ下における外食へのニーズの変化の対応策として内食需要への強化策に取り組んでおります。また、我が国への海外からの旅行者の増加傾向は活発化してきておりますので、それへの対応策を強化しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高56億33百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益2億5百万円(前年同期は営業損失1億62百万円)、経常利益2億28百万円(前年同期比50.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億65百万円(前年同期比47.2%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、当第3四半期の売上高が前年同期を上回りました。これは、海外からの旅行者の需要が顕在化してきたことと、とらふぐ料理の「持ち帰り」と「デリバリー」の売上高が伸びたことによります。「寿し常」においても、5月31日に成増店を閉店したにも拘わらず当第3四半期売上高は前年同期を上回りました。これは急増するインバウンド需要を取り込む施策を打ったことと、店舗別にマーチャンダイジングの再検討の結果で客単価が上昇したことによります。NYにおいては、インフレによる消費減速の影響を受けレストランが淘汰されている中であっても、「WOKUNI」の当第3四半期も増収増益を達成いたしました。自社平戸養殖場から直送の本まぐろを使った「Tuna Auction」イベントが評価され、「Toast」のThe Restaurant Industry Outlook Report 2023 Ed.にて「全米15のサステナビリティのレストランの一つ」に選ばれました。こうした情報拡散が新規顧客の増加に繋がっています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高50億76百万円(前年同期比24.4%増)、セグメント利益1億42百万円(前年同期はセグメント損失2億50百万円)となりました。

(外販事業)

養殖・卸売部門においては、「平戸本まぐろ極海一番」の養殖生産は順調に推移しておりますが、新型コロナウイルス発生時期のまぐろ稚魚池入れ尾数が少なかったことが原因で、当第3四半期の本まぐろの売上高、利益額ともに前年同期を下回りました。平戸養殖場では、SDGs14の「海の豊かさを守る」の当社ゴールを目指す活動を継続しております。この活動の一環としての「近大の人工種苗マダロ」(今期導入)の養殖生産も順調に推移しております。また、この6月に、海水温の上昇、病気発生等を鑑み、サステイナブルなとらふぐ養殖への転換として、大分県にて陸上養殖をスタートさせました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における外販事業は、売上高5億56百万円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益54百万円(前年同期比32.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて80百万円減少し、23億72百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1億27百万円及び仕掛品の増加27百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、19億27百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定の増加21百万円、減価償却費の計上による減少46百万円及び敷金及び保証金の減少30百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて47百万円減少し、11億97百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加18百万円、未払法人税等の減少68百万円及び賞与引当金の増加14百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて2億49百万円減少し、14億97百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少2億54百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて1億79百万円増加し、16億5百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1億65百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得することで、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,826,527	1,699,164
売掛金	235,448	216,537
仕掛品	190,941	218,482
原材料	81,359	67,138
未収入金	14,210	30,037
その他	104,586	141,173
流動資産合計	2,453,073	2,372,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,578,507	1,566,850
減価償却累計額	△1,219,993	△1,247,687
建物及び構築物(純額)	358,513	319,163
機械装置及び運搬具	53,784	53,474
減価償却累計額	△42,267	△45,107
機械装置及び運搬具(純額)	11,516	8,366
工具、器具及び備品	423,558	443,259
減価償却累計額	△391,024	△402,316
工具、器具及び備品(純額)	32,534	40,942
土地	883,878	883,878
有形固定資産合計	1,286,443	1,252,350
無形固定資産		
ソフトウェア	20,618	16,434
ソフトウェア仮勘定	5,853	27,124
無形固定資産合計	26,471	43,559
投資その他の資産		
敷金及び保証金	550,849	520,330
長期貸付金	300	-
破産更生債権等	21,478	21,478
繰延税金資産	21,685	28,482
その他	147,718	154,099
貸倒引当金	△90,412	△93,076
投資その他の資産合計	651,618	631,313
固定資産合計	1,964,533	1,927,223
資産合計	4,417,606	4,299,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,778	173,331
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	324,449	343,265
未払金	258,107	240,136
未払法人税等	91,249	22,983
賞与引当金	8,160	22,274
その他	170,300	195,328
流動負債合計	1,245,045	1,197,320
固定負債		
長期借入金	1,682,148	1,427,456
資産除去債務	40,746	38,718
その他	23,638	31,211
固定負債合計	1,746,533	1,497,386
負債合計	2,991,578	2,694,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,240	517,240
資本剰余金	419,240	421,011
利益剰余金	454,756	620,345
自己株式	△30,382	△26,350
株主資本合計	1,360,855	1,532,246
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,401	13,025
その他の包括利益累計額合計	10,401	13,025
新株予約権	54,771	59,777
純資産合計	1,426,028	1,605,049
負債純資産合計	4,417,606	4,299,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	4,679,454	5,633,365
売上原価	1,773,946	2,133,208
売上総利益	2,905,508	3,500,157
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	901,143	900,526
雑給	332,006	426,955
賞与引当金繰入額	26,147	22,274
広告宣伝費	10,097	1,308
販売促進費	53,081	78,832
地代家賃	616,615	617,324
減価償却費	47,137	40,769
その他	1,081,983	1,206,539
販売費及び一般管理費合計	3,068,213	3,294,530
営業利益又は営業損失(△)	△162,705	205,626
営業外収益		
受取利息	90	21
協賛金収入	5,900	7,523
為替差益	10,659	85
受取家賃	10,264	3,381
助成金収入	592,078	17,520
受取保険金	2,836	16
その他	21,529	11,513
営業外収益合計	643,359	40,062
営業外費用		
支払利息	15,182	13,820
貸倒引当金繰入額	-	3,150
開業費償却	8,256	-
その他	-	584
営業外費用合計	23,438	17,555
経常利益	457,215	228,133

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	134	69
新株予約権戻入益	261	-
特別利益合計	396	69
特別損失		
店舗休業損失	6,799	-
固定資産除却損	389	15,987
固定資産圧縮損	5,433	-
訴訟関連損失	-	8,161
特別損失合計	12,622	24,148
税金等調整前四半期純利益	444,990	204,054
法人税、住民税及び事業税	136,950	45,262
法人税等調整額	△5,560	△6,796
法人税等合計	131,389	38,466
四半期純利益	313,600	165,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	313,600	165,588

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	313,600	165,588
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	16,616	2,623
その他の包括利益合計	16,616	2,623
四半期包括利益	330,217	168,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,217	168,212
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。